2023年度

環境経営レポート

対象期間:　2023年8月1日～2024年7月31日

発行日:　2024年9月30日

改定日Rev1:

改定日Rev2:

株式会社 ハアーモニー
愛知県弥富市鮫ケ地3-62
TEL:0567-52-2391/FAX:0567-52-3558

エコアクション21
認証・登録番号0006164

～ 目　次 ～

頁

1. 組織の概要 ・・・・・・・・・3

(1)事業所名及び代表者名

(2)所在地

(3)事業の概要

(4)事業の規模

(5)環境管理責任者及び担当者連絡先

2. 対象範囲 ・・・・・・・・・4

(1)組織図

(2)役割・責任・権限

3. 環境経営方針 ・・・・・・・・・5

4. 環境経営目標 ・・・・・・・・・6

5. 環境経営計画及び実施内容 ・・・・・・・・・7

6. 環境経営目標の実績 ・・・・・・・・・8

7. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容 ・・・・・・・・・9

8. 次年度からの中長期目標 ・・・・・・・・・10

9. 環境関連法規等のとりまとめ ・・・・・・・・・11

10. SDGsの取り組み ・・・・・・・・・12

11. 代表者による全体の評価と見直し・指示 ・・・・・・・・・14

１．組織の概要

(1)事業所名及び代表者名

株式会社ハアーモニー

代表取締役　長倉 立之介

(2)所在地

1)本社、第1工場、製品倉庫棟：愛知県弥富市鮫ケ地3-62

2)第2工場、第3工場、部品倉庫棟：愛知県弥富市鮫ケ地3-61-2

(3)事業の概要

◇シャッター開閉機及び農業用ハウス向け天窓開閉機の設計・開発、製造

◇シャッター用リモコンの設計・開発、製造

◇外食産業用ワイヤレスオーダーコールシステム「ベルスター」の設計・開発、製造

◇引き取り修理及びサービスパーツの供給

(4)事業の規模(2023年度)

◇年間売上高：27億円

◇従業員数：74人(2024年7月31日現在)

◇総床面積：4211㎡

1)本社、第1工場、製品倉庫棟：2229㎡

2)第2工場、第3工場、部品倉庫棟：1982㎡

(5)環境管理責任者及び担当者連絡先

◇環境管理責任者：総務部 取締役　長倉 匡利

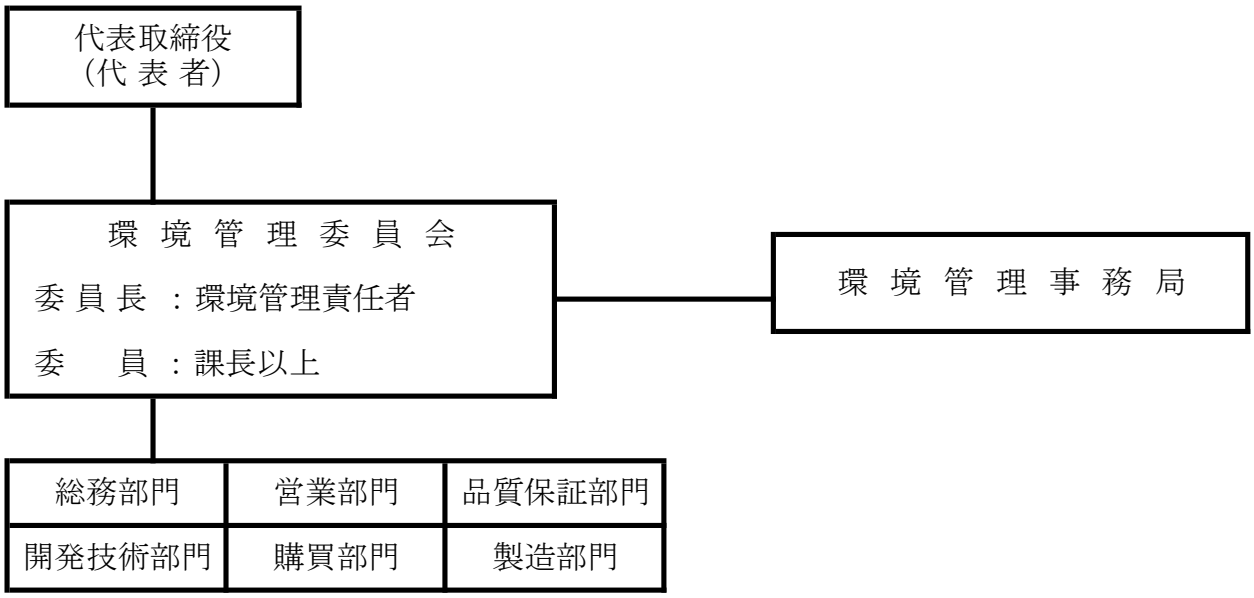
◇担当者：営業部 係長　星野 智靖

◇連絡先：TEL 0567-52-2391

FAX 0567-52-3558

2．対象範囲（認証・登録範囲）

(1)組織図



(2)役割・責任・権限

	役割・責任・権限
代表者 （代表取締役）	・代表者として環境経営全般に関して責任と権限を持つ ・環境方針を策定し、従業員に周知する ・環境管理に必要な資源（人員・設備・費用）への投資の承認 ・EA21全体の取組状況に関し、評価・見直しを実施する
環境管理責任者	・EA21の要求事項を満たす環境経営システムを構築、実行し環境面の実績を向上させ、結果を代表者へ報告する ・EA21文書類（環境方針を除く）を承認する ・環境管理全般のかじ取りを実施する
環境管理委員会	・EA21に関する活動内容の審議 ・環境目標及び環境管理計画の審議と実施運営の確認
環境管理事務局	・環境への負荷及び取組の自己チェックを取りまとめる ・環境目標・環境改善項目を取りまとめる ・環境関連法規制の遵守状況の確認及び情報収集 ・環境活動計画書兼進捗管理表による状況報告及び評価 ・社内外の環境情報収集と伝達を実施する ・環境活動レポートの作成
部門長	・環境活動計画書の達成と実績の把握 ・環境方針、環境目標、環境活動計画を自部門全体に周知する ・社内外の環境情報収集と伝達を実施する ・自部門の緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する
全従業員	・自部門に関する法規制等を遵守する ・各自業務を行う中で環境への意識を常に持つ

環境経営方針

基本理念

電動シャッター用開閉機･ガレージシャッター用無線リモコン･ワイヤレスオーダーコールシステム･その他関連機器の開発から製造までの生産活動において、お客様の要求品質に応える製品の提供はもとより、地域及び地球規模への環境影響を認識し、環境汚染の予防を推進するとともに、全ての活動を通じて自然との調和に努め、環境負荷の低減を図り、社会に貢献することを念頭に活動します。

取組指針

1．取組重点分野
①環境に配慮した商品開発を推進し、お客様へ環境にやさしい製品の提供に努めます。
②電気や化石燃料の省エネルギー化を推進し、CO_2排出の削減に努めます。
③事業活動における水使用量の節水に努めます。
④生産活動に使用する原材料･副資材に含まれている有害化学物質の削減に努めます。
⑤製造工程からの廃棄物の削減およびリサイクルの推進に努めます。

2．環境に関する法律･条例･協定、および当社が決めた外部からの要求事項を遵守します。

3．当社の事業活動や製品及びサービスに係わる活動が、環境に与える影響を認識し、環境目標を定めて社員一同一丸となって継続的な環境改善に取組みます。

制定　2010年03月01日
改訂３　2020年08月01日

株式会社ハアーモニー
代表取締役
長倉立之介

4．環境経営目標

項　　目				単位	基準年 2008年度・他	環境目標 2021年度	2022年度	2023年度
環境商品配慮	環境に配慮した商品開発の推進			施策	－	①環境負荷物質を配慮した製品開発 ②リサイクルしやすい製品設計をする		
二酸化炭素排出量	二酸化炭素排出量の削減(総量)			kg-CO^2	203,341	－	－	－
	内訳	電力使用量の削減		kWh/t	876.0	573.8	571.2	568.5
				削減率	－	34.5%	34.8%	35.1%
		車両燃費	エスクァイア(ガソリン)	km/L	12.3 (2021年度)	適正管理	適正管理	適正管理
			ハイエース(軽油)		8.9 (2021年度)	適正管理	適正管理	適正管理
総量	上水使用量の削減			m^3/t	1.50	1.068	1.064	1.059
排水				削減率	－	28.8%	29.1%	29.4%
化学物質	化学物質の適正管理(ﾓﾘﾌﾞﾃﾞﾝ含有ｸﾞﾘｽの使用量維持)			kg	0.48 (2015年値)	適正管理	適正管理	適正管理
廃棄物排出量	一般廃棄物排出量の適正管理			kg	2,532	適正管理	適正管理	適正管理
	産業廃棄物排出量の削減			kg/t	58.8	51.5	51.3	51.1
				削減率	－	12.5%	12.8%	13.1%
活動	環境啓発 環境教育の実施			回数	1回/年	1回/月	1回/月	1回/月

●基準年の実績

・電力使用量(kWh)　＝　429,853
・上水使用量(m^3)　＝　736.0
・産業廃棄物排出量(kg)　＝　28,853
・商品生産重量(t)　＝　490.7

5．環境経営計画及び実施内容

(1)環境に配慮した商品開発の推進

①市場からの配慮要求である低減対象環境負荷物質リストに則って開発・設計を行う。

②適切な部材選定を行ったうえで、分別し易くする為に部品に材質名を標記する。

(2)二酸化炭素排出量

(a)電力使用の削減

・昼休み時間や不必要な時間の電灯の消灯

・機器等の電源OFF・定期メンテナンスの徹底

・省エネ設備の導入

(b)車両燃料の適正管理

・急発進、急ブレーキの禁止

・法定速度の遵守

・車内エアコンの適切な温度管理

(3)総排水量

(a)上水使用量の削減

・配管の計画的な補修の実施

・元栓の調整及び水量メーターの確認実施

・ステッカー等の貼り付けによる従業員への節水の意識付け

・配管の補修及び管理の徹底

(4)化学物質

(a)化学物質の適正管理

・モリブデン含有グリスの使用量適正管理

(5)廃棄物排出量

(a)産業廃棄物排出量削減

・廃棄物の分別化の徹底

・生産当たりの排出量削減

(b)コピー用紙の使用量の削減

・社内文書等のペーパーレス化(PDF等の有効利用)

・不要書類の裏面使用の推進

・ミスプリントの防止

(6)環境活動

(a)環境教育(環境啓発・教育の実施)

・環境方針、目標及び活動計画の周知

6．環境経営目標の実績

項　目				単位	目標 2023年度	実績 2023年度	取組結果
環境配慮商品	環境に配慮した商品開発の推進			施策	①環境負荷物質を配慮した製品開発 ②リサイクルしやすい製品設計	①新規採用部品および設計変更部品において環境負荷物質の含有量が基準を満たした。 ②2023年度は樹脂部品の新規設計はなし。従来からの樹脂部品に関しては引き続き材質表示を実施。	○
二酸化炭素排出量	二酸化炭素排出量の削減(注1)			kg-CO^2 総量	排出量把握	149,799.9	△
	内訳	電力使用量の削減(注1)		kWh/t	568.5	614.8	
				削減率	35.1%	29.8%	
		車両燃費	エスクァイア（ガソリン）	km/L	適正管理	14.7	
			ハイエース（軽油）		適正管理	9.3	
水総量排	上水使用量の削減			m^3/t	1.059	1.054	○
				削減率	29.4%	29.8%	
物化質学	化学物質の適正管理（ﾓﾘﾌﾞﾃﾞﾝ含有ｸﾞﾘｽの使用量管理）			kg（0.6 kg/缶）(注2)	適正管理	4.80	○
排廃出棄量物	一般廃棄物排出量の適正管理			kg	適正管理	2,391.5	○
	産業廃棄物排出量の削減			kg/t	51.1	124.1	△
				削減率	13.1%	-111.0%	
活環動境	環境啓発 環境教育の実施			回数	1回/月	実施	○

(注1)購入電力の二酸化炭素排出係数は、
　中部電力ミライズ㈱のR4年度実績「0.440kg-CO2/kWh」を使用(R5.12.22　環境省・経済産業省公表)
(注2)化学物質含有量の絶対値は、購入時のドラム缶重量を記載
　1缶(20kg)当たりのモリブデン含有量3%　※2020年度までは1缶(16kg)

●2023年度実績
- ・電力使用量(kWh)　=　337,790
- ・上水使用量(m3)　=　579.0
- ・産業廃棄物排出量(kg)　=　66,004
- ・商品生産重量(t)　=　549.47

7．環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

取組結果【 ○＝良好　 △＝不足 】

項　　目		取組結果	評価、次年度の取組内容
環境に配慮した商品開発の推進	①市場からの配慮要求である低減対象環境負荷物質リストに則って開発・設計を行う。	○	①新規採用部品および設計変更部品において環境負荷物質の含有量が基準を満たした。
	②適切な部材選定を行ったうえで、分別し易くする為に部品に材質名を標記する。		②2023年度は樹脂部品の新規設計はなし。従来からの樹脂部品に関しては引き続き材質表示を実施。
電力使用量の削減	昼休み時間や不必要な時間の電灯の消灯 機器等の電源OFFの徹底 設備の省エネ化	△	2023年度は目標に対して5.3%の削減が不足し未達となった。年間電力使用量は減少しているが、原単位目標未達要因として、前年度同様に受注減による商品生産重量の減少であると把握している。引き続き無駄な使用が無いように管理する。
車両燃料の適正管理	急発進、急ブレーキの禁止 法定速度の遵守 車内エアコンの適切な温度管理	○	2023年度は車両燃費が昨年度と比較して横ばいとなっていた。引き続き燃費の管理を続ける。
上水使用量の削減	元栓の調整及び水量メーターの確認実施 ステッカー等の貼り付けによる従業員への節水の意識付け	○	2023年度は漏水等のトラブルもなく、目標達成となった。引き続き無駄な使用が無いように管理する。
化学物質の適正管理	ﾓﾘﾌﾞﾃﾞﾝ含有グリスの使用管理	○	2023年度は、モリブデン含有グリスを使用する製品の出荷が増えた為、グリスの購入量が増加した。引き続き使用管理を実施する。
一般廃棄物の適正管理	毎月の一般廃棄物の重量を把握し、削減意識を持つ	○	2023年度は、昨年度と比較して一般廃棄物が減少した。社内のペーパーレス化が進んでいることが要因であると把握している。引き続き現状維持管理を実施する。
産業廃棄物排出量の削減	廃棄物の分別化の徹底、排出量削減	△	2023年度は、昨年度に引き続き長期保管となっていた不要在庫部品の廃棄を行った為、目標未達となった。産業廃棄物排出量は昨年度より削減されている。現状維持管理を実施する。
環境啓発環境教育の実施	環境方針、目標及び活動計画の周知 「5S（整理、整頓、清掃、清潔、躾）活動」の推進 「アイドリングストップ」など掲示	○	毎月の委員会にて月次環境報告により周知活動の実施。また、廃棄物の台帳を用いた管理および廃棄物パトロールによる分別強化と教育を実施。 引き続き、環境・安全・整理整頓の啓発活動および廃棄物分別の監視を実施する。

8．次年度からの中長期目標

2008年度実績を主な基準として、2026年度までの中長期目標を決めました。

目標値の設定方法は、2023年度の目標値から各年度0.3%の削減を目指します。

項目				単位	基準年 2008年度・他	環境目標 2024年度	2025年度	2026年度
環境商品配慮	環境に配慮した商品開発の推進			施策	－	①環境負荷物質を配慮した製品開発 ②リサイクルしやすい製品設計をする		
二酸化炭素排出量	二酸化炭素排出量の削減(総量)			kg-CO^2	203,341	排出量把握	排出量把握	排出量把握
	内訳	電力使用量の削減(注1)		kWh/t	876.0	565.9	563.3	560.6
				削減率	－	35.4%	35.7%	36.0%
		車両燃費	エスクァイア(ガソリン)	km/L	12.3 (2021年度)	適正管理	適正管理	適正管理
			ハイエース(軽油)		8.9 (2021年度)	適正管理	適正管理	適正管理
水総量排	上水使用量の削減(注1)			m^3/t	1.50	1.055	1.050	1.046
				削減率	－	29.7%	30.0%	30.3%
物化質学	化学物質の適正管理(ﾓﾘﾌﾞﾃﾞﾝ含有ｸﾞﾘｽの使用量維持)			kg	0.48 (2015年値)	適正管理	適正管理	適正管理
廃棄物排出量	一般廃棄物排出量の適正管理			kg	2,532	適正管理	適正管理	適正管理
	産業廃棄物排出量の削減(注1)			kg/t	58.8	50.9	50.7	50.6
				削減率	－	13.4%	13.7%	14.0%
活環動境	環境啓発 環境教育の実施			回数	1回/年	1回/月	1回/月	1回/月

(注1)商品生産重量当たりの指数

9．環境関連法規等のとりまとめ

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、関係機関及び工場近隣からの違反の指摘・指導、訴訟等は過去にありません。

法的義務を受ける環境関連法規制は次のとおりです

	環境関連法規制等の名称	遵守事項等	対 応 概 要	遵守状況
1	騒音規制法	規制基準の遵守 届出、変更	騒音設備の届出(2021.06.23) 必要と判断した時に騒音計で確認	遵守
2	振動規制法	規制基準の遵守 届出、変更	振動設備の届出(2021.06.23) 必要と判断した時に確認	遵守
3	悪臭防止法	規制基準の遵守	規制基準の遵守義務 随時工場の外で感覚的に確認	遵守
4	水質汚濁防止法	規制基準の遵守 届出	規制基準の遵守義務 必要と判断した時に水質測定予定	遵守
5	下水道法	規制基準の遵守 届出	規制基準の遵守義務 必要と判断した時に水質測定予定	遵守
6	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	管理票の報告 届出	産業廃棄物管理票(マニフェスト)の作成、5年間保管、掲示板設置、適正保管	遵守
7	廃棄物の適正な処理の促進に関する条例	委託先の確認	処理状況の確認	遵守
8	特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律	取扱量等自主管理	自主管理	遵守
9	労働安全衛生法	調査 掲示、周知	SDSの入手と作業者への取扱等説明	遵守
10	消防法	規制基準の遵守 届出	防火管理者の選任、消防計画作成	遵守
11	フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律	回収、破壊措置 管理の適正、 点検、記録	工場内のエアコン設置一覧表作成 点検・記録簿の作成	遵守
12	資源の有効な利用の促進に関する法律	長期使用と再資源利用の促進	該当設備更新時に対応	遵守
13	特定家庭用機器再商品化法	長期使用 排出抑制	該当設備更新時に対応	遵守
14	使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律	再資源化	該当設備更新時に弥富市役所へ持込む	遵守
15	使用済自動車の再資源化等に関する法律	長期使用 再資源化	自動車の更新時に対応	遵守
16	愛知県　県民の生活環境保全に関する条例	原動機の停止指導の周知	アイドリングストップの励行 従業員駐車場等にｱｲﾄﾞﾘﾝｸﾞｽﾄｯﾌﾟの掲示	遵守

１０．SDGｓの取り組み

(1)活動宣言

SDGs 宣 言

当社は、国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、

その達成に向けた取組を行っていくことを宣言します。

2021年8月1日
株式会社ハアーモニー
代表取締役 長倉 立之介

3 すべての人に健康と福祉を
あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する

7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに
すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する

11 住み続けられるまちづくりを
都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靭かつ持続可能にする

(2)活動内容

	活動目標	活動実績	活動風景	関係するSDGs
1	安全衛生による安全運転推進及び通勤災害を減らす	退社時間に駐車場へ立ち、 安全運転を呼び掛ける看板を持ち注意喚起 交通事故防止啓発活動 (JAFによる危険予知・事故回避トレーニング動画観賞)		3 すべての人に健康と福祉を
2	PETボトルキャップをJCVへ寄付 JCV:認定NPO法人世界の子どもにワクチンを日本委員会	社内にてPETボトルキャップを回収、 いその株式会社様を通じてJCVへ寄付し、 世界の子どもたちへワクチンを提供		3 すべての人に健康と福祉を 12 つくる責任 つかう責任
3	募金	2024年01月01日石川県能登半島にて発生した大地震の被災者の方々への義援金 能登半島地震災害義援金口座を通じて寄付 ￥100,000		1 貧困をなくそう 16 平和と公正をすべての人に
4	環境啓発	駐車場、社内の水回り、電気スイッチ部へ アイドリングストップ、節電・節水喚起表示		11 住み続けられるまちづくりを
5	エネルギーの節約(節電)推進	社内全体にてLED電気を使用		7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 13 気候変動に具体的な対策を
6	災害対策強化	・あらゆる災害に対応出来るように 災害対策チームの発足準備 (組織図立案、作業内容の検討) ・2024年03月21日 消火器訓練実施		11 住み続けられるまちづくりを 13 気候変動に具体的な対策を
7	労災ゼロ推進	安全衛生パトロール		3 すべての人に健康と福祉を 8 働きがいも経済成長も
8	健康促進	・健康維持のために健康診断にて前年度と 比較して維持・改善されていた方にボーナス支給 ・2023年11月23日第3回ウォーキング大会実施 ・2024年03月30日第4回ウォーキング大会実施 ・2024年03月28日 愛鉄連保険組合による健康セミナーの実施		3 すべての人に健康と福祉を
9	地域貢献活動	・地元小中学校への朝日写真ニュース寄贈 ・2023年10月16日 清掃活動実施 ・2024年05月20日 清掃活動実施		4 質の高い教育をみんなに 11 住み続けられるまちづくりを
10	愛知県休み方改革 マイスター企業　認定	年次有給休暇の取得や多様な特別休暇の積極的な導入		3 すべての人に健康と福祉を 8 働きがいも経済成長も

１１．代表者による全体の評価と見直し・指示

本年度の目標値未達に終わった「電力使用量」及び「産業廃棄物」の要因は、
分析のとおり「生産減」や「計画廃棄」によるものであり
環境経営システムの方向性に問題ないものと判断します。

SDGs関連においても、地域貢献として地元小中学校への寄贈品や会社周辺の清掃など
業務外に向けた新たな活動を評価しています。

次年度は目標達成に向け、環境啓発活動による従業員の一層の環境意識向上に向けた
取り組みをお願いします。

	変更の必要性	見直し事項
環境経営方針	□有り　■無し	特に変更無し
環境経営目標及び 環境経営計画	□有り　■無し	特に変更無し
実施体制	□有り　■無し	特に変更無し